

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立長南小学校

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成29年 4月18日(火)

3. 調査の対象

小学校第6学年、全児童

実施児童数 91人

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び算数。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容(A問題)と、それらを活用する力などに関する内容(B問題)とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査(以下「児童アンケート調査」という。)を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査(以下「学校アンケート調査」という。)を実施する。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(国語)

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・全ての学習指導要領の領域等で、やや正答率が下回る。

平均正答率(本校 73/泉佐野市 71/大阪府 72/全国 74.8)

「B区分問題」

- ・全ての学習指導要領の領域等で、やや正答率が下回り、特に「話すこと・聞くこと」の領域での正答率が下回る。

平均正答率(本校 54/泉佐野市 53/大阪府 54/全国 57.5)

2. 学力状況調査より(本校正答率/全国正答率)

国語 A	特 徴 が み ら れ た 設 問
【言語についての知識・理解・技能】 〈設問番号4二〉 ○グループの話し合いを通して見付けた俳句のよさとして適切なものを選択する。(51.6/57.0) 〈設問番号7(1)〉 ○漢字を書く(参加たいしょう)(28.6/42.0) 【書く能力】 〈設問番号2二〉 ○手紙の後付けに必要な、日付、署名、宛名のそれぞれの位置について、適切なものを選択する。(35.2/41.5)	

国語 B	特 徴 が み ら れ た 設 問
【話す・聞く能力】 〈設問番号1一〉 ○スピーチの練習の様子を記録した動画を見る目的として、適切なものを選択する。(73.6/77.2) 〈設問番号1二〉 ○グループの話し合いの中で、石田さんたちは、スピーチメモを使うことのよさについてどのように考えているかについて書く。(64.8/69.2) 〈設問番号1三〉 ○折り紙のみりよくについて、スピーチメモとグループの話し合いで出された意見を基に書く。(38.5/48.4)	【書く能力】 〈設問番号2三〉 ○「水やりに協力してくれる人を募集します」の(イ)に入る内容を、中学生からのアドバイスを基に書く。(25.3/33.0)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	23.1	25.5		2.4
国語の勉強は大切だと思いますか	65.9	65.7		0.2
国語の授業の内容はよく分かりますか	49.5	38.9	○	10.6
読書は好きですか	50.5	49.0		1.5
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	51.6	55.7		4.1
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	19.8	26.1	◇	6.3
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	15.4	21.2	◇	5.8
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	29.7	33.1		3.4
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	76.9	77.2		0.3

○「読書は好きだ」という児童の割合が、全国よりも高いことは評価できる。

○「国語の勉強は好きですか」という児童の割合が、全国よりも低いことは課題である。

○「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか」という児童の割合が、全国よりも低いことは課題である。

○「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか」という児童の割合が、全国よりも低いことは課題である。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(算数)

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・全ての学習指導要領の領域等で、全国をやや正答率が上回る。

平均正答率(本校 79/泉佐野市 76/大阪府 78/全国 78.6)

「B区分問題」

- ・全ての学習指導要領の領域等で、全国をやや正答率が下回る。

平均正答率(本校 41/泉佐野市 42/大阪府 45/全国 45.9)

2. 学力状況調査より(本校正答率/全国正答率)

算数A	特 徴 が み ら れ た 設 問
【数と計算領域】 ○問題番号1(3) 60×0.4 を 60×4 を基にして考えるときの、正しい積の求め方を選ぶ。(96.7/91.0) ●問題番号2(1) 123×52 を計算する。(80.2/85.2) ●問題番号2(4) $5 \div 9$ の商を分数で表す。(57.1/69.2) ○問題番号3 8と12の最小公倍数を求める。(90.1/86.2)	【数と計算・数量関係領域】 ○問題番号2(3) $6 + 0.5 \times 2$ を計算する。(84.6/66.6) 【図形領域】 ○問題番号7 立方体の展開図から示された面と平行な面を選ぶ。(89.0/86.7) 【数量関係領域】 ●問題番号8 はじめに持っていたシールの枚数を□枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ。(80.2/83.6) ●問題番号9(2) 二次元表の合計欄に入る数を書く。(51.6/62.8)

算数B	特 徴 が み ら れ た 設 問
【数と計算・数量関係領域】 ○問題番号1(3) 2けたのひき算の答えを求めることができるきまりを書く。(29.7/38.6) 【数と計算・数量関係領域】 ○問題番号2(1) 小さい封筒で手紙を送る場合と大きい封筒で手紙を送る場合の料金の差の求め方と答えを書く。(37.4/40.4) 【量と測定・数量関係領域】 ○問題番号3(1) 飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を選ぶ。(63.7/67.9) ○問題番号3(2) 仮の平均の考えを活用して、測定値の平均を求める。(18.7/26.1)	【数量関係領域】 ○問題番号4(1) 示された式の中の数が表す意味を書き、その数が表のどこに入るかを選ぶ。(31.9/39.8) ○問題番号4(2) 学年全体の人数に対するハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数の割合を表しているグラフを選ぶ。(18.7/29.3) ●問題番号5(1) 「最小の満月の直径」の図に対して、「最大の満月の直径」の割合を正しく表している図を選ぶ。(65.9/65.0) ○問題番号5(2) 与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係を捉え、「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び、選んだわけを書く。(8.8/13.2)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	37.4	38.5		1.1
算数の勉強は大切だと思いますか	75.8	72.9		3.1
算数の授業の内容はよく分かりますか	57.1	47.6	○	10.5
算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか	56.0	50.3	◇	5.7
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	46.2	46.0		0.2
算数の授業で学習したことを普段の生活で活用できないか考えますか	27.5	35.6	◇	8.1
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	64.8	66.7		1.9
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	44.0	49.2	◇	5.2
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	47.3	48.2		0.9
算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていますか	42.9	57.0	○	14.1

○「算数の授業の内容はよく分かる」という児童の割合が、全国より高いことは成果である。

○「算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思う」という児童の割合が、全国より高いことは成果である。

○「算数の授業で学習したことを普段の生活で活用できないか考える」という児童の割合が、全国より低いことは課題である。

○「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える」児童の割合が、全国より低いことは課題である。

○「算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いている」児童の割合が、全国より低いことは課題である。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(児童質問紙より)

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【自分自身について】	朝食を毎朝必ずとっている児童の割合が全国を下回っている。 将来の夢がないなどの回答が全国よりも上回っている。	(1) 朝食を毎日食べていますか <81.3/87.0> (10) 将来の夢や目標を持っていますか あまりない・まったくない <23.1/14.0>
【家庭生活について】	一日当たりのテレビゲームをしている時間が全国より上回っている。 1日当たりの携帯電話やスマートフォンでインターネットなどをしている時間が全国より上回っている。	(13) 普段1日当たりどれくらいの時間テレビゲームをしますか。 3時間以上 <12.1/8.3> 4時間以上 <13.2/9.3> (14) 普段1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。 3時間以上 <9.9/3.2> 4時間以上 <7.7/3.8>
【家庭学習について】	家庭で学校の授業の復習をしている児童の割合が全国を下回っている。	(32) 家で、学校の授業の復習をしていますか <14.3/23.6>
【学校での学習の様子】	本校でも、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動は取り組んでいるが、それが「総合的な学習の時間」という結びつきが弱く、全国と比べ取り組んでいるという児童が下回っている。 原稿用紙に文章を書くことや自分の考えを書き出すこと等、字を書くことに対して苦手持っている児童が全国に比べ上回っている。	(54) 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。 <8.8/27.1> (66) 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか。 そう思う <46.2/32.9> (67) 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか。 そう思う <26.4/23.4>

本校のとりくみ

◎これまでのとりくみ

【学習面】

(1) 少人数習熟度別指導

算数と国語を中心に、1つの学級を複数の教員で指導し、よりきめ細かな指導、発表や質問がしやすい環境を目指しています。

(2) 長南タイム(朝学習)

1時間目の授業が始まるまでの10分間を活用し、主に読書にとりこんでいます。

(3) サポートタイム(放課後学習)

金曜日の放課後、家庭と連携を取りながら、学習に課題があった子どもたちと学級担任が、課題を克服するためにじっくり時間をかけて頑張っています。

(4) スキルアップルーム

5・6年生の希望者を対象とし、子どもたち自らが進んで自学自習する態度を身につけることができるように実施しています。

(5) 算数サポーター

算数の授業に入り込み、子ども一人ひとりによりきめ細やかな支援を行います。

(6) すき間ノートの活用

課題が早く済んだ時などにできる僅かな時間を利用して、自分でとりくむことを決め、自学を進めています。

【生徒指導面】

(1) いじめアンケート、生活アンケートの実施

(2) セカンドステップ

(3) 服装や挨拶についてのキャンペーン(児童会中心に)の実施

◎これからのとりくみ

(1) AS(アクティブスクール)推進事業及び少人数習熟度別指導

少人数習熟度別指導は継続します。

また、AS事業として、基礎基本、コミュニケーション力向上のとりくみを進めます。

(2) 長南タイム(朝学習)

漢字に特化したとりくみを継続します。

(3) サポートタイム(放課後学習)

継続します。

(4) スキルアップルーム

継続します。

(5) 算数サポーター

継続します。

(6) すき間ノートの活用

よい事例を紹介し、自学の楽しさを感じさせるため継続します。

【家庭学習面】

・ 家勉(うちべん)の再検討

家庭での学習の仕方について、再度検討し定着を図ります。

【生徒指導面】

(1) いじめアンケート、生活アンケート継続します。

(2) セカンドステップ 継続します。

(3) 全委員会(5・6年生)による挨拶に特化したキャンペーンを実施します。